

2024年度(令和6年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

体育の授業は楽しいですか

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	80.0	15.0	5.0	0.0
女子	63.6	31.8	0.0	4.5

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	90.0	10.0	0.0	0.0
女子	59.1	36.4	4.5	0.0

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	40.0	20.0	10.0	30.0
女子	40.9	22.7	18.2	18.2

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.27	15.78	30.35	35.13	37.71	9.61	155.05	21.16	48.80
女子	14.91	15.96	35.18	34.09	32.71	9.82	145.82	13.27	50.53

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・重点課題は、運動やスポーツに対して消極的な児童がいることである。要因として、運動能力が低く、思ったように自分の体を動かせないことから、「できない」から「やりたくない」や「恥ずかしい」という羞恥心が高いように考えられる。

体力面

・男女ともに全体的な体力の低下がみられる。県平均値かつ全国平均値未満であった種目は、5種目と多い。要因として、生活の中で、運動やスポーツをする機会が減ったことが考えられる。情意面も考慮し本校は、「遊び」を中心とした体力向上を進めていく。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・準備運動や授業の導入などで、遊びの要素を取り入れる。(様々な運動の要素を取り入れた「鬼遊び」「ボール運動」を中心に行う)
【鬼遊び・・・なわとび鬼ごっこ、様々な障害物を置いた中での鬼ごっこ等 ボール運動・・・新聞鉄砲、的当てゲーム等】
・「自分もやってみたい」「体育の授業は楽しい」という気持ちを育てるため、誰もが安心して挑戦できる場の設定やルールを工夫する等の授業改善を行う。
・体育や運動が好きな児童が多いため、授業時間内の運動量を確保する。

体育の授業以外で行う取組内容

・朝休憩や大休憩に体育委員会が発案した「運動遊び」や「大縄跳び大会」を行う。(運動内容を定期的に変えながら、全身の様々な筋力をつける)
・記録が向上したり、友達と協力しながら運動したりすることの楽しさを実感できる「運動遊び」を全校で行う。

2025年度(R7年度)の重点目標値

- ・男女ともに「体育の授業は楽しいですか」という項目で、消極的な回答の割合を3%以下にする。
- ・全体的な体力、運動能力の数値を上げる。